

7 薬学第 22 号
令和 7 年 7 月 15 日

各関係機関長 様

公立大学法人 名古屋市立大学 大学院薬学研究科長
服部 光治（公印省略）

教授の公募について(依頼)
(物理化学、薬工関連技術、生物情報科学、分析化学、医用工学、バイオマテリアル関連分野)

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当研究科では教授を公募することになりました。つきましては、貴機関(学部、大学院、研究機関)および関係方面に適任な候補者がおられましたら、下記の要領でご応募頂きたく、周知方お願い申し上げます。

敬具

記

所 属 : 生体分子薬学講座（研究室の名称は着任後に決定可）

職 名 : 教授

専門分野 : 物理化学、薬工関連技術、生物情報科学、分析化学、医用工学、バイオマテリアルなどの研究領域で、生命や疾病に関する問題の根本的理解および解決を目指す先端的研究分野。

担当科目 : 学部における、薬学物理化学、構造生物学、薬品分析化学、放射薬品学、バイオインフォマティクス、物理系実習、等をご担当頂きます。具体的な担当科目や内容は、着任決定後に、専門性を充分考慮しつつ現員教員等と調整します。これらに加え、大学院における基礎科目、特論科目、および全学教養教育科目などの一部もご担当いただきます。

応募資格 : 博士の学位と、一定の研究業績を有すること。薬学教育に熱意を持って取り組める方。

着任時期 : 令和 8 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期

提出書類 : 以下の(1)～(6)の電子ファイル(パスワードを付けること)を下記メールアドレス宛に提出してください。パスワードは別メールで送ってください。なお、電子ファイルの容量が 10 MB を超える場合には受信できないため、電子ファイルを圧縮するか、複数のメールに分割して送信してください。

* メールタイトルに、「名古屋市立大学大学院薬学研究科 生体分子薬学講座教授応募」と記載してください。

* ファイルを受信したら、返信します。1週間程度経っても返信がない場合は、必ず電話等で確認してください。

* 指定様式は薬学研究科ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/> からダウンロード可。

(1) 履歴書(指定様式 01)

(2) 業績目録(指定様式 02)

(3) 業績集計表(指定様式 03)

(4) 今後の抱負(様式任意、2,000 字程度): ①教育・人材育成、②研究、③社会および名古屋市立大学への貢献、については必ず記載してください。御自身のアピールポイントがあればそれも記載してください。

(5) 推薦状、または、当方から応募者に関するコメントを求め得る方の連絡先: いずれかを少なくとも1名分お願いします。複数でも構いません。推薦状は、以下「書類提出先」にメール添付また

は郵送にてお送りいただくよう、推薦者に応募者が依頼してください。

(6) 論文別刷:代表的な論文(5報)のPDF

応募締切 :令和7年10月23日(木)午後5時

選考方法 :書類選考後、面談・プレゼンテーションをお願いする場合があります。名古屋市立大学では男女共同参画を推進しており、業績と能力が同等なら女性を積極的に採用します。

書類提出先: 電子ファイル提出先:jimusu@phar.nagoya-cu.ac.jp

郵送提出先(推薦状のみ) 〒467-8603 愛知県名古屋市瑞穂区田辺通 3-1

名古屋市立大学薬学部事務室

電話(事務室) 052-836-3402 FAX 052-834-9309

ホームページ <https://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/>

その他

- ・名古屋市立大学は公立大学法人であり、薬学研究科の全ての教授には当初7年の任期制(審査を経て再任可・再任後は任期なし)が導入されています。
- ・本学の教育体制や着任後の研究環境、雇用条件、応募条件等について質問等がございましたら、上記までメールにてお尋ねください。
- ・提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。選考終了後は、適切に消去します。